

Q 穂土議員
道垣内交差点付近の道路改修の見通しは。

A 地権者との交渉が継続中である。
(平本町長)



●バスベイが設けられ、一部改良された道垣内交差点だが…

Q 現在、道垣内交差点付近で工事が中止されているが、いかなる理由によるものか。

A 当該道路は県道であるため、現在県の方で地権者に対して事業協力をお願いしているところであるが、交渉がまとまっていない状況である。今後も引き続き粘り強い交渉を行っていただき、交差点の改良が早期に完了するよう、町としても全面的に協力していく。

Q 山吹議員
トンネル等、町内道路の改良工事状況は。

A おおむね順調である。(古毛堂建設部長)

A 熊野・黒瀬間のトンネルについては、今年度地質調査を行い、実質的な工事開始は平成19年度からの予定。トンネルの長さは約1.2キロで片側一車線。平成22年度完成を予定している。萩原交差点の改良工事については、用地買収が終了。全長76mに渡り道路曲線の緩和、東側歩道の新設などを今年度中に工事完了予定となっている。

Q 国道375号線の広々東広島ハイパスが、平成22年開通予定となっているが、矢野安浦線における、熊野・黒瀬間の道路(トンネル)整備はこれに間に合う状況か。

また、瀬野呉線(県道174号線)の萩原交差点(梶山建材)付近では、毎日渋滞が発生しているが早く改良工事が出ないか。



●渋滞が頻発する萩原交差点付近

Q 藤河議員
県道瀬野呉線道路の拡幅について。

A 引き続き県へ要望を行っていく。
(古毛堂建設部長)

Q 県道瀬野呉線では朝夕の通勤時に渋滞も発生し、特に新宮地区の道幅の狭い場所では、通学する児童生徒を巻き込む交通事故が発生する可能性がある。

この県道拡幅については、以前から県と交渉を進められているようであるが、今後の進展の見通しについてどのようになっているか。

A 県道瀬野呉線は道路幅員の狭部や歩道整備の不十分な箇所がある。これについては、具体的な箇所を選定し県へ要望をしているところである。しかしながら、用地買収等の問題もあり、具体的な整備時期については明言できない。今後とも早期に工事着手して貰えるよう要望を行っていく。